

出土木簡積文（抄）

凡 例

- (一) 釈文の漢字は概ね現行常用自体に改めた。
- (二) 釈文に加えた符号はつぎの通りである。
- ・ 木簡の表裏に文字のある場合、その区別を示す。
- 木簡の上端もしくは下端に孔が穿たれていることを示す。
- □ □ 欠損文字のうち字数が確認できるもの。
- □ □ 欠損文字のうち字数が推定できるもの。
- □ □ 欠損文字のうち字数が数えられないもの。
- □ □ 記載内容から見て上または下に一字以上の文字を推定したもの。但し、削屑においては煩雑になるので原則として省略した。
- ■ ■ 抹消により判読困難なもの。
- く く 抹消した文字の字画の明らかな場合に限り原字の左傍に付した。
- 「 」 異筆、追筆。
- ゝ 合点。
- 「 」 「 」 校訂に関する注のうち本文に置き換わるべき文字を含むもの。
- () () 右以外の校訂注および説明注。
- [×] 文字の上に重書して原字を訂正している場合、訂正箇所左傍に・を付し原字を上を要領で右傍に示した。
- カ 編者が加えた注で疑問の残るもの。
- ママ 文字に疑問はないが意味の通じ難いもの。
- (三) 釈文下の上段のアラビア数字は、木簡の長さ・幅・厚さを示す(単位はミリメートル)。欠損・二次的整形の場合、現存部分の法量を括弧つきで示した。なお長さ・幅は木簡の文字の方向による。
- (四) 釈文下の中段に現在の遺存の形態を示す型式番号を記した。型式番号は次の通りである。なお端とは、木簡を木目方向においた時の上下両端をいう。

- 011 型式 長方形の材のもの。
- 015 型式 長方形の材の側面に穴を穿ったもの。
- 019 型式 一端が方頭で、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は011・032・051型式のいずれかと推定される。
- 021 型式 小型矩形のもの。
- 022 型式 小型矩形の材の一端を圭頭にしたもの。
- 031 型式 長方形の材の両端の左右に切り込みをいれたもの。方頭・圭頭など種々の作り方がある。
- 032 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれたもの。
- 033 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を失らせたもの。
- 039 型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は031・032・033型式のいずれかと推定される。
- 041 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状に作ったもの。
- 033 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にし、左右に切り込みをいれたもの。
- 049 型式 長方形の材の一端の左右を削り、羽子板の柄状にしているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。
- 051 型式 長方形の材の一端を失らせたもの。
- 059 型式 長方形の材の一端を失らせているが、他端は折損・腐蝕などによって原形の失われたもの。原形は033・051型式のいずれかと推定される。
- 061 型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。
- 063 型式 用途未詳の木製品に墨書のあるもの。
- 081 型式 折損・割截・腐蝕その他によって原形の判明しないもの。
- 091 型式 削屑。
- (五) 釈文下の下段に発掘調査次数と、出土地点を示す小地区名(アルファベット・数字)を記した。また柱穴出土の場合、掘形・抜取の別が判明するものは注記した。
- (六) 最下段のゴチック体の数字は写真図版のプレート番号である。

A 園池SG五八〇〇出土木簡

園池SG五八〇〇X

- (1) 炊力
二 屋
二 鹿
二 釘
八十

合釘千九百五十六

(137).24.3 081 110次 PQ80 37

園池SG五八〇〇B

- (2) 宋麻呂方「二丈」

175-27.5 032 九九次 KP72 37

- (3) 貞雄方「二丈」

130.23.4 032 九九次 JB72 37

- (4) 忠安方「三丈」

154.24.4 032 九九次 JB72 37

- (5) 河村郡河村郷白米五斗

(158).33.5 081 九九次 KS70 37

- (6) 弟[○]第十二櫃^{〔第〕}

77-26-5 022 九九次 JE64 37

- (7) $\square\square$ 者見見月有

• □ 六四三二 日月

(125).23.5 059 九九次 KR71 37

- (8) 春米米

春春春
〔春力〕（他二判読不能ノ墨痕アリ）

(125).48.2 081 九九次 JE72 37

B 大垣関係遺構出土木簡

東面大垣東雨落溝SD五八一五

- (9) 東力
蘭進上三升

●
[物マ首万呂カ]
□ □ □ □ □ □
[五カ] 右 [種付三]

(161)·(25)·5 081 九九次 DD59 38

東面大垣西雨落溝SD九〇四〇側石拔取穴

- (10) 他田国足綾公足

狩 \ □ マ 忍人 \ 穴太 □
□ □ 万呂 \

•
i
□

錦マ烏養

右

坂上馬養「驗」

丈新惠廻述」

(169)·(48)·4 081 二四五—二次 CD18 38

南面大垣下石組溝SD五八三〇B

- (11) 田部常万呂

(216)·(30)·5 081 一七六次 AH22 38

- (12)

三三
川大
成万
呂

五稻人

(58). (32). 2 081 二七六次 AH22 38

(31) 三方郡乃止三家人羽志米六斗 141.32.6 031 一一〇次 IL64 柱掘形 39

(32) ・「金勝勝 今□報□」

〔恐カ〕

□々□若子御前□

〔金カ〕

□金八十八乙巳

・「勝火火長□□」

恐恐受給又欲

「九□大□大」

(131).35.2 081 一一〇次 IK62 柱掘形 39

南北棟建物SB九〇七五

(33) □大伴二人 三富

(94).(17).6 081 一一〇次 IB69 39

南北棟建物SB九〇七六

(34)

・

□

・二□

〔申カ〕

□□

(69).(15).3 081 一一〇次 ID73 柱掘形 39

東西塀SA九〇六四

(35) ・所部 食

〔赤カ〕

□□□

(112).(32).11 065 一一〇次 IG74 柱掘形 40

東西塀SA九〇六〇

(36)

隠伎国周吉郡

山部郷生壬部佐奈

海藻六□

〔斤カ〕

□

(152).28.4 039 一一〇次 IK68 柱掘形 40

柱SX九〇八六

(37) 雇工春刀良 (柱根側面墨書)

長(540)径388 061 一一〇次 IN64 41

東西橋SC八四六五

(38) 右廿八

370.(255).77 061 九九次 KR65 41

D 溝・土坑出土木簡

土坑SK九〇九〇

(39) ・嫁里

知□里

□マ里

長谷マ里

・〔和之取カ〕

□□□里

前里

青見里

(159).(25).2 081 一一〇次 IL63 39

(40)

六月□

〔七カ〕

091 一一〇次 IL63 42

(41)

郡□

〔郡カ〕

091 一一〇次 IL63 42

斜行溝SD九〇四一

(42)

〔大カ〕

□甘首名

〔江カ〕

□野国足

(95).13.3 019 一一〇次 IL61 39

(43)

〔倭カ〕

□□マ里

(37).(27).2 081 一一〇次 IL61 42

(44) 下道人守□ (131)・(8)・4 081 一一〇次 IN61 41

(45) □□朝臣□□□ 091 一一〇次 IN61 41

(46) □ 目下 091 一一〇次 IN61 42

南北溝SD一六三〇〇

(47) 召 壬生直得足 朱雀門□□□□□□□□
武□□虫□□
[射臣カ]

秦川辺□□□□□□□□□□□□□□□□
子身陵比□□□□□□□□□□□□□□□□
片野連嶋村 [方カ]□□□□□□□□□□□□□□□□
(228)・(16)・5 061 二四五―二六次 CD18 42

南北溝SD九〇九二

(48) 明月□□□ 月月月月月 (左側面)

月月月馬馬 210・9・8 065 一一〇次 IN62 41

(49) □□[年カ]八月七 091 一一〇次 IN62 42

(50) □□□□□□□□□□
[駿河国カ]

(51) 病 091 一一〇次 IN62 42

(52) 各田マ林□ 091 一一〇次 IN62 42

(53) □□[勝カ]マ□ 091 一一〇次 IN62 42

(54) 若倭マ□ 091 一一〇次 IN62 42

(55) □ 万呂 091 一一〇次 IN62 42

E 整地土・包含層出土木簡

下層整地土

(56) 柏カ]原里□ (65)・18・3 081 一一〇次 IN62 41

整地土

(57) □□通通通通□
通通加□□
大人人

□□□□□□□□□□
[具カ]
臣成成□□ (165)・(49)・8 081 一一〇次 IN73 42

包含層

(58) □□マ広立九常 (89)・12・3 032 一一〇次 IN61 42